

B1-1-2

一般口演

インプラント周囲メンテナンスへの唾液内歯周病原細菌の影響

○岩崎美和, 牧野盛太郎, 澤田光弘, 木津康博

医療法人社団木津歯科オーラル&マキシロフェイシャルケアクリニック横浜

The influence of periodontal disease-associated bacteria in saliva to maintenance for peri-implant

○IWASAKI Miwa, MAKINO Seitaro, SAWADA Mitsuhiro, KIZU Yasuhiro

Medical Co. Kizu Dental Clinic, Oral & Maxillofacial Care Clinic YOKOHAMA

目 的

近年の歯科インプラントの生存率は高いと報告されているがそのなかで成功しているインプラントは多いのであろうか。口腔内に長期にわたり辺縁骨の吸収など著明な炎症所見のない状態で存在してこそ歯科インプラント治療は成功といえるのである。

炎症がインプラントの周囲粘膜に限局しているインプラント周囲粘膜炎の5～10年経過後の発症率は、患者の約80%、インプラントの約50%と報告されている。さらに、インプラントを除去する可能性が高まる辺縁骨の吸収を伴うインプラント周囲炎は患者の28%～56%以上、インプラントの12%～43%との高い発症率が報告されている<sup>1)</sup>。とくにインプラント周囲評価シートにおけるGroup Dのインプラント周囲炎はGroup B, Cのインプラント周囲粘膜炎と比較して、予後は不良となる。そこで、的確なインプラント周囲の評価が必要であることから、インプラント周囲組織の評価方法として第13回本学会においてインプラント周囲評価シートの活用を報告した<sup>2)</sup>。

インプラント周囲炎に罹患したインプラント周囲溝の細菌叢は、歯周炎のポケット内歯周病原細菌叢と類似していることが報告<sup>2)</sup>されていて、Takahashiらはインプラント体周囲の*P.g.*菌、*P.i.*菌の75%以上が天然歯由来であったと報告している。つまり、これらの研究報告から、天然歯の歯肉溝からインプラントへの細菌感染が疑われている。そこで、インプラント周囲の臨床的評価と歯周病原細菌検査が歯科衛生士の行うメンテナンスに重要な因子となる。そのため、第15回本学会にてインプラント周囲評価シートの各クリニカルスコア別におけるインプラント周囲溝の歯周病原細菌を定量し、その相関性を報告した<sup>3)</sup>。さらに、本年度学術大会においてインプラント周囲溝滲出液と唾液内の歯周病原細菌の関連性についても報告する。

インプラント周囲評価シートを活用し、早期の評価を行ったうえでインプラント周囲粘膜炎を改善させ、骨吸収を伴う周囲組織炎に移行させないことが歯科衛生士の行うメンテナンスで最も大切なことである。そこで、唾液内歯周病原細菌検出率とインプラント周囲のメンテナンスの有効性について検討を行った。

対象と方法

2008年3月～2014年3月までにオーラル&マキシロフェイシャルケアクリニック横浜に受診されたインプラントが口腔内に存在している患者で、インプラント周囲のメンテナンス前後の周囲評価と歯周病原細菌検出率を統計解析した。

- ①インプラント38本のメンテナンス前後のインプラント周囲評価とインプラント周囲溝滲出液内の歯周病原細菌検出率の変化について
- ②29症例のメンテナンス前後のインプラント周囲評価と唾液内の歯周病原細菌検出率の変化について

結 果

メンテナンス前に唾液内の歯周病原細菌(*P.g.*菌)の検出率が低い症例では、メンテナンス後のインプラント周囲炎の改善率は有意に高いことが示された。

考察および結論

定期的なインプラント周囲評価シートを用いたインプラント周囲の評価は重要である。そのうえで、*P.g.*菌の検出率を少なくコントロールすることが、インプラント周囲炎を改善させるためには重要であることが示唆された。歯科衛生士、歯科医師そして検査技師によるチームアプローチがインプラント周囲粘膜炎の早期発見とインプラントを長期に問題ない状態に保つことを可能とする。

参考文献

- 1) Zitzmann NU, Berglundh T.: Definition and prevalence of peri-implant diseases. *J Clin Periodontol*, 35 : 286-291, 2008.
- 2) 関根秀志, 木津康博, 小野寺良修, 田口達夫: インプラント周囲組織評価のためのメンテナンスプロトコル. 第13回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会 2009.12 佐賀.
- 3) 木津康博, 岩崎美和, 小野寺良修, 関根秀志: インプラント周囲炎の診断における歯周病原性細菌検査の有用性. 第15回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会 2011.12 千葉.